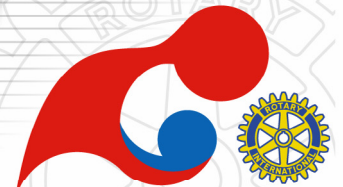


名古屋大須ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-OSU WEEKLY REPORT

<本年度クラブ会長方針>

No. 1007



夢をかたちに

Ever Onward ~いつも前を向いて~

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 小澤 幸男 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 太田 裕 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

2008-2009年度 R.I. 会長

李東建 Dong Kurn Lee

Rotary International President

第1180回例会

新世代のための月間
平成20年9月4日(木)
SPEAK OUT DAY
於 名古屋東急ホテル
出席計算数 61名中54名出席
出席率 88.52%
前々回出席率 93.10%

ロータリーソング

「君が代」
指揮者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

米山記念奨学生 徐 冬梅さん
受入青少年交換学生 ラウラ・フランチエスカさん

ニコボックス

10月4日(土)「大須観音新能」宜しくお願ひします。 吉田 隆彦
オオスシンガースのビデオ楽しみです。 太田 裕
オオスシンガース万歳! 鬼頭 茂成
まだまだ暑いのでお疲れが出ません様にお過ごし下さい。

小笠原和俊・横井 衛
堀江さん 太田さん 前田さん 川畑さん
出口さん 高木さん ありがとうございました。
岡村 隆徳
ラウラさん 学校いかがですか。 高木 政義
岡田さん 山口さん 尾上さん 岩崎さん
住田さん 横井さん 米山の件協力ありがとうございます。
小林 昭雪
飯田 昭夫
久しぶりです。

本日、娘のコンサートのPRをさせて頂きます。宜しくお願ひいたします。

草野先生お世話になりました。 神野 邦利

誕生日です。 松永 裕子・草野 勝彦
尾上 昇

妻の誕生日です。 石黒 正城・浅野 彰
出口 忍・杉本 英夫

女房の誕生日です。 杉浦 令淑・伊藤 与則
山田 邦彦

結婚記念日です。 近藤宏一郎・吉田 明夫

会長挨拶

会長 小澤 幸男

不順な天候が続きます。先週の例会の夜、非常に激しい雨が2時間ほど続きました。名古屋市内でも相当の浸水が発生したようです。メンバーにも被害にあわれた方がおいでのようにです。お見舞い申し上げます。私の家も、入りのスロープまで水につかり、あと2cm水位が上がれば家の中に水が入りました。土嚢を積み重い物を上げましたら、治療中の椎間板ヘルニアが悪化してしまい、腰が痛くなってしまうました。

後ほど幹事からも連絡がありますが来週の例会は中ロタリーと合同のカパナー訪問です。そのため11日の例会は変更で、来週8日の月曜日に観光ホテルで12時30分より開催されます。くれぐれもお間違えの無いようにして下さい。

今日は多くの皆様ご利用されている「ETC」について個人情報の観点からお話します。現在国内に走って

る約8000万台の自動車の約30%の2300万台にETCが装着されています。非常に便利でマイレージの割引もありますので有効に使っておられると思いますが、その情報が料金の請求業務以外にどのように利用されているか私たちには解りません。

ゲート通過時に撮られた運転者と車種とナンバープレートの写真と移動記録がどこで誰が処理をして保存しているかまったく不明です。

同じように一般道路にも設置されているNシステム(自動車ナンバー読み取りシステム)と各所に設置されている路上監視カメラは警察に繋がっています。もし、ETCのデータも繋がってれば私たちの移動情報が全部警察に筒抜けになっていることで怖い思いがあります。

会員増強推薦者ハッチ贈呈

浅野 彰さん / 春日井和良さん 紹介者
小澤 幸男さん / 松永 裕子さん 紹介者



受入青少年交換学生挨拶

ラウラ・フランチエスカ



米山奨学生挨拶

徐 冬梅

映画におけるグローバル化に伴い、人物、情報、国境間移動が一層激しくなり、当然ながら異なる文化に接する機会もその分著しく増加してきました。現在、私は、映画におけるグローバル化の様々な問題を修士論文の方でまとめていることとさせていただきます。今回のスピーチに当っては、皆様に日中国画における映画分野での交流、また近年の映画製作の新たな傾向を紹介させていただきます。

二十年前の中国では日本映画のブームが起こりました。1970年代後半から1980年代にかけて、『愛と死』(中村登監督、1971年)、『君よ憤怒の河を渉れ』(佐藤純弥監督、1976年)、『人間の証明』(佐藤純弥監督、1977年)といった日本映画が続々と中国に輸入され、センセーションを巻き起こしました。また、『赤い疑惑』(1984年)、『おしん』(1985年)といった日本のテレビドラマが中国で放映されると、それぞれ驚異的な視聴率を記録したものです。

当時、中国における日本人スターに対する熱狂ぶりは、今のヨン様ブーム同様の熱狂があって、例えば、高倉健と山口百恵はその代表的存在でした。

山口百恵の写真は、雑誌の表紙やグラビア、カレンダー、シールといった形で広く流通していました。この前の北京オリンピックの開幕と閉幕式の演出で全世界に感動を与えた張芸謀（チャン・イーモウ）監督も、実は「君よ憤怒の河を流れ」に登場する高倉健の姿に魅了され、未来いつかは高倉健の映画を撮りたいという夢を抱いて映画界に入門したといわれています。

一方、近年の映画のグローバル化に伴って、映画監督、俳優は勿論のこと、さらに日中合作映画が数多く見られ、さまざまな形で映画の交流が広がっているのがわかります。例えば、2004年9月17日、北京で日本映画祭を開催しましたが、そこにはアニメ、大河映画など幅広いジャンルの日本映画が上映され、大きな反響がありました。そして、2005年、チャン・イーモウ監督は、ついに彼の長年の夢だった高倉健との合作映画を実現しました。皆様ご存知の「単騎・千里を走る」（2005年）がまさにそれだったのです。

時の麻生外務大臣は、その映画を見た後で、「言葉は通じなくても、真心が通じ合えば、お互いに信頼しあえることがよく伝わって、素晴らしいこと」と感想を述べていました。

さらに、今年には韓国の延世大学で中央日報社と延世大学の共同主催で「韓日中映画プロデューサーフォーラム2008」が開かれました。



「北東アジアの」

融合的な発展のために」というテーマで、韓国・中国・香港・日本のプロデューサーらが出席し、北東アジア映画産業の融合と発展をめぐって様々な議論が交わされたのも、今まさに映画産業におけるグローバル化の一面かと思われれます。

このように、グローバル化の浸透に伴って、多国籍映画産業、映画スターの合作映画、また外国映画での出演などがごく普通になっており、映画を通して、各国の文化交流、お互いの理解が増進しているといつてよいのではないのでしょうか。

老人介護施設音楽懇親会

9月7日(日) 社会奉仕事業として老人介護施設の音楽懇親会を行いました。



ハモンドオルガンによる「バラ色の人生」や、児童合唱団による「とんがり帽子、ふるさと、上を向いて歩こう」などが披露されました。

当クラブ会員 渡辺観永さんの奥様、渡辺由美さんが主催する合唱団「ぼこ・あ・ぼこ」は振りつきの曲も交え、10曲の合唱で入居者の皆さんを楽しませてくれました。



ハモンドオルガン演奏は、鈴木郁子さん、渡辺由美さん。於 千寿乃里 (天白区原)

卓話 (8月21日例会)

「アンコール遺跡の修復事業とカンボジアの子供たち」

名城大学 理学部建築学科 教授 丁亨博士 溝口 明嗣さん

本日お話しさせていただきました内容は、貴会の会員であります岩崎様からいただいた依頼で、このような機会を大変名譽なことと受け止めております。

さて、私も「日本国政府アンコール遺跡救済チーム」は、1994年の夏に現地調査を開始し、2005年4月までにアンコールの3つの遺跡を修復しました。

まず、カンボジアの歴史を簡単に話します。紀元4世紀頃、現在のラオスの南部あたりにあったクメール真臘が大きく発達し、南部のプノム扶南を飲み込んでいきます。分裂を繰り返した後、9世紀の初頭になって巨

大な王国に成長し、10世紀に入ってアンコールの地に首都を築きました。12世紀末頃には現在のベトナム、ラオス、タイ、ミャンマー南部、マレーシア北部に渡る大国家を築きます。

しかし徐々に版図を縮小し、15世紀中頃、プノンペンに首都を移す頃から、クメール王国はベトナムとアユタヤに挟まれ急速に国力を失っていきます。19世紀には仏領コーチ、シナの一部分となり、ポルポト派が終焉を迎えるまで不安定な地域でした。クメール王国は10世紀から12世紀にわたって強大な国力を持ち、世界有数の巨大寺院を次々に造営しています。しかし国力は衰え、私たちが現地ですべて調査を始めた94年頃でも、調査していた遺跡の10km北では、まだ戦禍が続けられていました。

その頃遺跡で見た子供たちは、裸足で継ぎ接ぎのある服を着てポリバケツに水を入れ、コーラの缶を売っていた子供たちでした。年に2、3度の現地調査を行っていましたが、現地に行くと、子供たちの様子が変わっていったことを覚えております。最初の変化はサンダルを履くことでした。次に清潔な衣服に代わっていききました。2年ほど経つと、ピアスやネックレスをつけた子まで見るようになりました。わずかの間に紛争が縮小して観光客が押し寄せ、経済的に潤うようになったためだと思えます。遺跡の街シムレアップは、いまでは大変豊かな街に変わりました。

最近、シムレアップから北東に140km離れた地域で遺跡調査を進めています。シムレアップから離れるほど、子供たちの様子は、調査を始めた頃に戻っていきよつです。裸足の子供たちも多くなります。最近舗装された幹線道路に沿って新しい村が次々に造られています。経済はまだまだ弱く学校の施設なども、人の移動に追いつかないよつです。

私たちの修復事業は、予算が縮小されて工事の規模がずいぶん小さくなりました。以前私たちの現場で働いていたカンボジア人達は、修復工事の技術を持ちながら、仕事のない人たちも増えています。シムレアップの周辺でも、経済的に困窮している人たちがいます。子供たちの様子は、結局、その地域の経済力を反映しているよつです。カンボジアの全域が観光都市のようになることがいいのかどうか判りませんが、早い時期に安定した国に落ち着くことを望んでおります。

9月25日(木) 例会の案内
クラブフォーラム
「創立25周年記念事業能の話」
 能楽協会名古屋支部
 柳原富司忠さん

広報委員会
 杉本 英夫 ・ 木村 光徳
 加藤巳千彦 ・ 北川 晶邦
 佐々木 功

